

看護学概論（全人的医療基礎講義含む）

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、教養教育センター		
対象学年	1	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	通期		
単 位 数	2 単位		

・学修方針（講義概要等）

看護の歴史の変遷、看護の対象、健康と看護、看護活動の場・内容・方法を理解する。全人的医療基礎講義を通じ、医療人となるための幅広い教養を身につけるとともに、他職種との連携の重要性等を学び、看護職の役割、看護の特徴を概観できる。

・教育成果（アウトカム）

本科目は、看護学の導入部であり、かつ各看護専門領域への橋渡しの役割を持っている。具体的には、看護の歴史の変遷、看護の対象、健康と看護、看護活動の場・内容・方法、そして看護職の役割、多職種との存在と連携の重要性等を学び、看護について今後の学修のイメージをもつことができる。

全人的医療の基礎を学ぶことで、その必要性、重要性の理解を深めることができる。また、医療人となるための幅広い教養の必要性、生涯学び続ける姿勢の重要性を理解でき、他者の話を傾聴し、自分の考えを整理し論理的に表現することができようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3

・到達目標（SBO）

1. 世界の看護の歴史の変遷のポイントをあげることができる。
2. 日本の看護がどのように発展してきたのかポイントをあげることができる。
3. 看護の対象としての「人間」とはなにかを述べることができる。
4. 看護の対象としての人間の成長・発達について述べることができる。
5. 社会的文化的存在としての「人間」とはなにかを述べることができる。
6. 家族・集団の特徴を述べることができ、家族・集団への看護の必要性を述べることができる。
7. 健康とはなにか、健康の持つ意味、健康の諸相に合わせた看護のあり方について述べるることができる。
8. わが国における保健、医療、福祉とは何かを述べることができる。

9. 看護職の資格と養成制度について説明できる。
10. 看護職がどのような場で活躍しているのか、継続教育はどのようになされているのか説明できる。
11. わが国の看護職の養成制度、継続教育の課題をあげることができる。
12. 法の内容と看護をめぐる法と制度の枠組みを述べるができる。
13. 看護職の法的側面（保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保に関する法律）を理解できる。
14. 医療安全と医療の質保障について知り、安全なケアについて説明できる。
15. 医療看護の倫理の歴史的経緯と現代の課題を知ることができる。
16. 建学の精神を理解し、全人的医療人としての自己イメージを具体的に形成することができる。
17. エンドオブライフの医療的介入の問題点を挙げる。
18. 人生の最終段階を生きる患者とその家族の QOL に配慮するようになる。
19. 医療におけるリスクベネフィットを説明できる。
20. 薬害が発生する経緯を理解し、医療者の責任を説明できる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-A 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/20 (木) 1 限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	看護の歴史的変遷 ・世界の看護の歴史的変遷のポイントをあげることができる ・日本の看護がどのように発展してきたのかポイントをあげることができる 【事前学修】教 P43～48 を読み、わからない部分を調べておく 【事後学修】講義資料を復習する
4/27 (木) 4 限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	看護の対象としての「人間」とは ・看護の対象としての人間とは、を述べるができる 「人間」の成長・発達 ・看護の対象としての人間の成長・発達について述べるができる 社会的文化的存在としての「人間」看護の対象の理解・家族・集団 ・家族・集団の特徴をあげ、家族・集団への看護の必要性を述べるができる 【事前学修】教 P70～75 を読んでおく 【事後学修】講義資料を復習する
5/11 (木) 4 限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授	健康とは何か ・健康の持つ意味、健康のレベルにあわせての看護のあり方について述べるができる 保健、医療、福祉の概念 ・わが国における保健、医療、福祉とは何かを述べるができる 【事前学修】WHO の健康の定義、憲法第 25 条 1 項について調べておく 【事後学修】講義資料を復習する

<p>5/18 (木) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>看護実践を支える看護の考え方：看護理論① (ナイチンゲール・ヘンダーソン) ・患者の生命力の消耗を最小にするように整えることについて述べる ことができる ・ヘンダーソンによる看護活動の基本の14の構成要素について、その 意味を述べる 【事前学修】ナイチンゲールについて、既存資料から自分なりのナイ チンゲール像をまとめておく 【事後学修】講義資料を復習し、新たに理解したことをまとめる (小レポート) ナイチンゲールの著作から看護について考える (60分)</p>
<p>5/25 (木) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>看護実践を支える看護の考え方：看護理論② (ペプロウ、ウィーデンバック・オーランド、トラベルビー) ・患者・看護師関係の発展段階およびそれを発展させる効果的コミュニ ケーションについてポイントをあげることができる ・ウィーデンバック・オーランドの理論の特徴を述べる ことができる ・概念モデルを示した理論：ロイ、オレム、ベナーの看護論の特徴を述 べる 【事前学修】教P345～346 看護理論の要約およびP347 看護理論の系譜 を読んでくる。 【事後学修】講義資料を復習する</p>
<p>5/30 (火) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>医療看護における倫理：医の倫理、看護職の倫理 ・医療看護の倫理の歴史的経緯と現代の課題を知ることができる 【事前学修】教P154～156 歴史にみる人権の変遷を読んでくる 【事後学修】講義資料を復習する</p>
<p>6/1 (木) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>看護における法的側面 ・法の概念と看護をめぐる法と制度の枠組みを述べる ことができる ・看護職の法的側面(保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保に 関する法律)を理解する 【事前学修】教p329～331 保健師助産師看護師法(抜粋)を読んでくる 【事後学修】講義資料を復習する</p>
<p>6/2 (金) 4限</p>	<p>祖父江 憲治 学長 教養教育センター 中島 理 教授</p>	<p>【全人的医療基礎講義】学長講義 創立者三田俊次郎が掲げた理想の医療、120年余の本学の歩み、そし て6年間の学びのための心構えについて学ぶ ・建学の精神を理解し、全人的医療人としての自己イメージを具体的 に形成することができる 【事前学修】シラバスに記載されている学則第1条第1項を読み、誠 の人間」について自分なりの考えをまとめておく 【事後課題】事後レポートの提出</p>

<p>6/15 (木) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>日本の看護職の現状 - 看護職の資格と養成制度、看護職の就業状況と継続教育の視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職の資格と養成制度について説明できる ・看護職がどのような場で活躍しているのか、継続教育はどのようになされているのか説明できる ・わが国の看護職の養成制度、継続教育の課題をあげることができる <p>【事前学修】教 P33～35 およびシラバスに記載されている看護学部の DP（学位授与方針）を読んでくる</p> <p>【事後学修】講義資料を復習し日本の看護職の現状について新たに理解したことをまとめる (小レポート) 日本の看護職の現状の課題・問題を論述する</p>
<p>6/29 (木) 4限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>看護職に対する社会の期待と責任①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護業務基準と看護者の倫理綱領とは何かを述べるができる <p>【事前学修】教 P326～329 資料「看護者の倫理綱領」を読んでおく</p> <p>【事後学修】講義資料を復習する</p>
<p>7/18 (火) 3限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>看護職に対する社会の期待と責任②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全と医療の質保障について理解できる <p>【事前学修】教 228～231 を読んでくる</p> <p>【事後学修】講義資料を復習する</p>
<p>9/8 (金) 4限</p>	<p>教養教育センター 会田 薫子 客員教授 中島 理 教授 相澤 文恵 教授</p>	<p>【全人的医療基礎講義】長寿時代のエンドオブライフ・ケア 人生の最終段階における医療・ケアの意思決定支援および医療的介入に関する諸問題を学ぶ事で医療従事者に求められる死生観について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンドオブライフの医療的介入の問題点を列挙できる ・人生の最終段階を生きる患者とその家族の QOL に配慮するようになる ・医療におけるリスクベネフィットを説明できる <p>【事前学修】「エンドオブライフ・ケア」という用語について調べ、自分なりに考察しておく</p> <p>【事後課題】事後レポートの提出</p>
<p>11/1 (水) 1限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>看護の役割と機能①(ワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院、介護施設での看護の違いについて自分の体験を通して述べる ことができる ・提示された事例について、保健医療福祉のチームにおける看護の役割を調べる ことができる <p>【事前学修】基礎看護学実習で出会った保健医療福祉チームの他職種の名称とその役割をふりかえる</p> <p>【事後学修】個人課題へ取り組む</p>
<p>11/8 (水) 1限</p>	<p>共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授</p>	<p>看護の機能と役割②(ワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護活動の場の広がり多様化に伴い拡大している看護の役割について述べる ことができる <p>【事前学修】提示された事例の療養の場の特徴を調べる</p> <p>【事後学修】(小レポート)個人ワーク課題をまとめて提出</p>

12/8 (金) 4限	教養教育センター 川田 龍平 客員教授 中島 理 教授	【全人的医療基礎講義】 薬害を考える-いのちが守られる社会の実現のために- 薬害エイズ訴訟原告としての実体験に基づき、「いのちを守る社会」 を実現するための医療者の責任を学ぶ ・薬害が発生する経緯を理解し、医療者の責任を説明できる 【事前学修】 薬害エイズ事件について調べる 【事後課題】 事後レポートの提出
-------------------	-----------------------------------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ基礎看護学① 看護学概論 第7版	志白岐康子, 松尾ミヨ子, 習田明裕 編集	メディカ出版	2022
参	長寿時代の医療・ケアエンドオブライフの論理と倫理-	会田薫子	筑摩書房	2019
参	延命医療と臨床現場-人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学-	会田薫子	東京大学出版会	2011
参	龍平：生き抜く勇気を -いのちを守る世界をつくるために-	川田龍平	高文研	2022
参	医療格差	川田龍平	角川書店	2011
推	なぜこの国は被害者を守らないのか	川田龍平	PHP	2013
推	沈みゆく大国アメリカ<逃げ切れ!日本の医療>	堤未果	集英社	2015
推	人はなぜ、同じ過ちを繰り返すのか?	佐治晴夫×堤未果	清流出版	2012

・成績評価方法

定期試験（60％）定期試験は前期のみ実施する
 全人的医療基礎講義事後レポート、小レポート、個人ワークの事後レポート（40％）
 提出されたレポートは「自分の考えを整理し論理的に表現すること」を重視して評価する。

・特記事項・その他

全人的医療とは、病のみを対象とした医療ではなく、患者の人格を中心にして身体、精神、心理、社会など諸側面から総合的、包括的に適切な医療を実践することを意味する。本学は、建学の精神のもと豊かな人間性を育み、医学・歯学・薬学・看護学を密接に連携させて理解を深めることによって一層の全人的医療を実践できる医療人の育成を促進している。

そこで、本講義では、専門職連携教育(Inter Professional Education)の一環として、医学・歯学・薬学・看護学を志す学生に共通して求められる他分野への連携理解を深められるように医・歯・薬・看護学部の学生が合同で多方面の分野について学修する。また、誠の医療人を目指す学生として、人格を陶冶するための幅広い教養を身につけるとともに、各専門領域をより広い視野で多角的に理解するための柔軟な思考力、深い洞察力を育む。傾聴した内容を整理し自己の考えをまとめるレポートを作成し、論理的な思考力と表現力の向上をはかる。

なお、本講義は「いわて高等教育コンソーシアム」の加盟大学（岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学、富士大学、一関工業高等専門学校、放送大学）の希望者に講義を配信し、県内学生に対する教養教育・社会教育の一助とする。

※授業に関する連絡、授業に必要な資料の提示、小レポートの提出は WebClass を活用する。
WebClass の使用説明は入学直後に行われるので、授業開始前に WebClass の使用方法（メール送受信、課題の提出方法等）を習得しておくこと。

※教科書の画像、動画、アニメーションを見るための「メディカ AR」アプリをインストールしておくこと。

※「自分の考えを整理し論理的に表現する」レポートの書き方については別途提示する。

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

各回授業内容に提示している。

各授業に対する事前事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出されたレポートについては、全体に伝えるべき内容は次の授業で話題とする。

レポートについての質問・疑問は WebClass のメールを通じて解答する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野 基礎看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	デスクトップパソコン (Mate J タイプ ML - Y 世代 PC-MUT29LZCCSY)	1	講義資料の作成等
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影